

## 令和5年度 介護福祉士基本研修 【開催要綱】

実施主体 : 公益社団法人 日本介護福祉士会 / 一般社団法人 埼玉県介護福祉士会

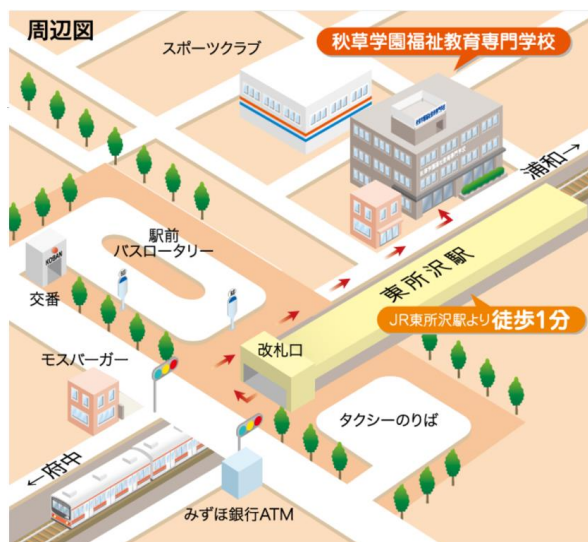
受講対象 : 介護福祉士資格取得後、実務経験2年未満の方  
※申し込み方法は、2枚目の受講申込書をご使用ください。

受講期間 : 令和5年7月14日(金)～令和5年8月10日(木)  
全4日間(24時間) プログラム参照(3枚目)

定員数 : 30名(定員になり次第終了させていただきます。)  
締め切り : 令和5年6月24日(土) 必着

受講料 : 会員 20,000円(テキスト代・修了証発行手修了込み)  
会員外 40,000円(テキスト代・修了証発行手修了込み)

会場 : 秋草学園福祉教育専門学校 ※学校への問い合わせはご遠慮ください。  
埼玉県所沢市東所沢1-11-11



JR中央線快速・武蔵野線「西国分寺駅」から13分、「東所沢駅」のすぐそばにあります。

※ 本研修に関するお問い合わせ先：

埼玉県介護福祉士会 研修事務局

〒330-0855 埼玉県さいたま市大宮区桜木町  
1丁目266-3番地 シンワKIビル

TEL : 080-1023-6306  
(研修直通)

mail : info@saitama-kaigo.org

FAX : 048-611-7830

☆ お申込み方法 ☆	
①スマホで申し込み	スマホからQRコードを読み込み、 必要事項を入力してください。
②FAX ※送り状不要	下記の申込書をご記入の上、送信してください。 <b>FAX : 048 - 611 - 7830</b>
③郵送	〒330-0855 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目266-3番地 シンワKIビル 埼玉県介護福祉士会 研修事務局宛



令和5年度 介護福祉士基本研修 受講申込書	
フリガナ：	申し込み日
氏名：	年 月 日
生年月日：昭・平 年 月 日（ 歳）	
<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 ※連絡及び送付先に☑を入れてください。未記入は自宅となります。	
②住所： 〒 -	〒 - 名称：
TEL：	※主に連絡を取り合う番号
①mail：	③FAX：
会員番号： ・会員（ ） ・会員外	
介護福祉士取得 後の経験年数	介護福祉士 登録年月日
※下記にて、受講票の受け取り方法を選択してください。 ※ ①メール ・ ②FAX ・ ③郵送（どちらかに○をつけてください：未記入はメールとなります。）	

記入漏れにご注意ください。

連絡事項：

- ・全日程終了者には、埼玉県介護福祉士会より『修了証』を交付致します。
- ・すべての科目を終了しなければ修了証を発行することはできません。
- ・受講者が10名以下の場合は中止致します。
- ・受講申込書に記載された個人情報は、運営管理の目的にのみ利用させていただきます。
- ・受講決定通知へ振込先を記載します。郵便局にて受講料金の振り込みをお願いします。
- ・振込用紙に受講番号の記入を忘れずをお願いします。

## 令和5年度 介護福祉士基本研修【プログラム】

研修内容 介護過程の展開を中心に、生活支援としての介護の視点や自立支援の考え方について学び、現場実践に繋げることを目的として本研修を開催します。今回の介護福祉士基本研修をスタートとして、ファーストステップ研修、『認定介護福祉士』を取得するためにステップアップの第1歩となる研修です。

※ファーストステップ研修を受講するためには、基礎研修の終了が必須です。

(日本介護福祉会の生涯研体系に基づく研修)

日 程	科 目	講 師
1日目	(講義) 介護過程を展開する前提として・・・	
7月14日 (金) 10:00~17:00	・ 求められる介護福祉士像	奈良 環氏
	・ 生活支援としての介護の視点	
	・ 自立支援の考え方	
	・ 介護福祉士に求められる知識と技術	

※7/14 介護福祉士の活動報告実施いたします (10~15分程度)

2日目	(講義) 介護過程の基本的理解	
7月26日 (水) 10:00~17:00	・ 介護過程の意義と目的	鈴木 直人氏
	・ 介護福祉士の具体的な展開	
	・ 介護過程とチームアプローチ	

3日目	(演習) 介護過程の展開の実際	
8月3日 (木) 10:00~17:00	・ 事例1 『障がい者支援施設で生活するAさんの事例』	長藤 成真氏
	(事例に基づく実践演習)	
	事例1の課題	

4日目	(演習) 介護過程の展開の実際・まとめ	
8月10日 (木) 10:00~17:00	・ 事例2 『介護老人福祉施設で生活するCさんの事例』	長藤 成真氏
	・ 事例3 『自宅で生活するEさんの事例』	
	(事例に基づく実践演習)	
	事例2, 3の課題	